



相馬市立中村第一中学校だより

蛍雪の功

令和6年9月20日発行

文責 高瀬 永志

暑さ寒さも彼岸までと言うように、ようやく秋らしい空気になってきました。涼しくなって、勉強やスポーツに一層、集中しやすい季節となりました。

昔の中国の韓愈（かんゆ）が読んだ詩に「灯火親しむべし」とあります。「秋は過ごしやすい季節なので、夜には明かりを灯して読書をするのに最適である」ということを言っています。朝の読書で本に親しむようになった子どもも増えていますので、この3連休、時間の余裕がありましたら、ご家族みんなで、明かりを灯して（スマホは消して）本を読んでもみるのはいかがでしょうか。

生徒が主体となって実現



生徒会が主催して、全校でレクレーション大会を行いました。全学年のクラス対抗で、借り人競争と、玉入れを行いました。学年を超えてクラスが団結して、大きな声援の中、明るい笑顔がたくさん見られました。今まで何年も、本校の生徒会総会で、生徒側からの意見として、スポーツ大会や球技大会を行いたいと要望が出されていきました。今年度の生徒会役員で話し合い、企画を作り、職員会議に起案し、計画、準備してきました。玉入れの道具は、生徒会役員たちが桜丘小学校からお借りして、自分たちの手で運んできました。今までは要望で終わっていたことを実現させた、生徒会の功績は大きいです。思いや考えを意見として伝えること、その意見を行動に移すことの大切さを実感できたのではないのでしょうか。この気風が中村一中学生徒会の伝統となることを期待しています。

震災語り部の話を聞きました

1年生は総合的な学習の時間の中で、地域を学び、課題を見つけ探究する学習を行っています。相馬市にとって、東日本大震災は避けては通れない話題であり、防災、減災は重要な課題です。今回の語り部講話や、来週の伝承館見学などを通して、東日本大震災について学び、災害に強い町づくりや、自らの命を守られる力について考えさせていきます。今回は、相馬市観光協会のご協力により、語り部五十嵐ひで子さんから、尾浜で被災した当時の様子を詳しく聞きました。子どもたちはみんな真剣に話を聞いていました。ある生徒からは、「震災後に生まれた世代として、私たちがこのことを語り継ぐことの大切さを知り、南海トラフなどの大災害の可能性が高まっている地域の人たちにも伝えなくてはならない」という意見があり、大変素晴らしい気づきだと感心しました。



選挙啓発ポスターの入賞

令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクールにて、本校から3名が受賞しました。金賞・銀賞を獲得した9点の優れた作品の複製が、市役所御仕法通りにて30日まで一般公開されていますので、お立ち寄りの際は是非ご覧ください。また、金賞を受賞した作品は、令和7年度執行予定の相馬市長選挙の啓発ポスター等として活用される予定となっています。

3年生はあと3年（早い人であと2年半）で選挙権を得ますので、政治参加は遠い先の話ではありません。日頃から新聞やニュース等を見て、政治に関心を持ってほしいと思います。

金賞 阿部さん（2年）

銀賞 佐々木さん（3年） 佐藤さん（2年）

来週の予定

9月23日（月）振替休日

24日（火）中高連携授業3年数学

25日（水）PTAあいさつ運動 7:30～ ノー部活デー

26日（木）27日（金）総合的な学習の時間体験学習 お弁当の日

1年 東日本大震災・原子力災害伝承館見学（26日）自衛隊による防災教室（27日）

2年 職場体験学習（26、27日）現地集合・現地解散

3年 ふくしまイノベ未来講座（26、27日）福島イノベーション・コースト構想推進機構来校

※ 27日～29日市美展（相馬市総合美術展）スポーツアリーナ相馬



